



荻の里

黒部市立荻生小学校

学校だより 12号

平成30年2月16日

目指す子供の姿 **や**さしく **か**しこく **た**くましく

「自分たちの学校生活をよりよいものにするために」

校長 金三津 ひろみ

今、本校の廊下の床には、折り紙で作った鶴が置かれています。学習参観で来校された際に見られて、何のために置かれているのかと不思議に思われた保護者の皆さんもおられることと思います。

これは、1月に開催した学級代表による代表委員会で「冬場の校舎内の安全な過ごし方」について話し合われた際に提案された「冬場になると、廊下を走る人が増えて危ないので、自分たちが作った折り鶴を置くことで、みんなで気を付けるようにしたい」という意見をもとに取り組んでいるものです。折り鶴は、「安全な生活を心がけよう」という思いを込めて、子供たちが一つずつ折りました。

「廊下を歩こう」という掲示をしたり、廊下の中央に目に付きやすい看板や花鉢等を置くことで走りにくくしたりというアイディアは、いろいろなところで目にします。けれども、通行の邪魔にはならないけれど、安全な歩行をみんなで心がけるための「小さな目印」として折り鶴を置くという子供たちの発想がとても素敵です。

実のところ、当初は職員の間でも「縄跳び練習や掃除の際の邪魔になるのでは」「目に付きにくいいため、誤って踏んでしまうのでは」「わずかな風でも吹き飛ばされてしまうのでは」などの心配や課題を指摘する声が多くありました。けれども、児童会を担当する教員は、折り鶴の大きさや廊下に並べる数、折り鶴を置く小さな台等、いろいろと工夫を重ねることで課題を解決しました。手前みそですが、わたしは、子供たちのアイディアを何とかして実現させようとした教員の気持ちも素敵だと思っています。

残念ながら、まだまだうっかり走ってしまう姿も見られ、この取組によって廊下の安全歩行が徹底できるほどの効果はありません。けれども、折り鶴を見ることで取組を始めたときの気持ちを思い出し、走るのをやめる子供もいます。何よりも、子供たちが、自分たちの学校生活をよりよいものにするために、みんなで考え、決めて、それを実行するということが自体に大きな意義があると感じています。わたしたち教師は、「みんなでよりよい学校にしていきましょう」と呼びかけながら、その実、子供たちが考える余裕や自分たちで決めたり、意見を言ったりする機会をあまり与えていなかったかもしれません。1年を振り返るまとめの時期にあたり、来年度に向けて、今よりもっとみんなが心地よく過ごせる「自分たちの荻生小」にするために、教師も子供も「チーム荻生」の一員としてみんなで考え、互いの意見や気持ちを伝え合うことができるようにしていきたいと思っています。



廊下の床に置かれた折り鶴
小さな積み木の台に載せられています。

1～3年 「スマイル・スマイル集会」

4～6年生がスキー練習会を行う予定だった1月26日（金）、1～3年生が「スマイル・スマイル集会」を行いました。

例年この日は、3年生が学校の最上級生となる1年で1度の特別な日です。悪天候のため、残念ながら4～6年生のスキー練習会は中止となりましたが、1～3年生の「スマイル・スマイル集会」は計画どおりに実施しました。

3年生は、1・2年生を楽しませようと、ずいぶん前からみんなで話し合い、準備をしてきました。当日は、1・2年生が6つのグループになり、3年生が行う「空き缶積み」や「ペットボトルボーリング」「間違いさがし」等のコーナーを回りました。3年生は各コーナーでゲームの説明を行い、2年生はグループのリーダーとなって1年生をリードします。「廊下は走らない」「仲良く力を合わせる」などの目当てを守り、楽しく活動し、名称のとおり笑顔があふれる集会になりました。

この「スマイル・スマイル集会」は、2学期に6年生と集会委員会が中心になって行った「スマイル集会」をお手本にして3年生が計画しています。また、2年生の振り返りには、「来年は自分たちの番」「今年3年生が楽しませてくれたように、自分たちも1・2年のみんなを楽しませたい」と書かれていました。上級生の姿に憧れる気持ちが子供たちの意欲につながり、多くの子供たちがその姿を具体的な目標としていることがよく分かり、嬉しく感じました。



協力して空き缶つみにチャレンジ

この日は、給食時の放送も3年生が担当しました。



5年「みそ作り体験」 荻生の館

1月30日（火）、5年生が荻生の館で「みそ作り体験」を行いました。荻生公民館のご協力により、毎年5年生がこの時期に行っている恒例の活動です。みそ作りについての説明の後、蒸し上げた大豆と米麴を混ぜたものを機械に入れてミンチ状にするところから作業を開始しました。塩を混ぜた後、力強くこねて最後は空気を抜いて桶に入れました。荻生地区でとれた米で米麴を作るところから荻生公民館で行っていると知り、子供たちは大変驚いていました。地域の方との触れ合いを通して、地域で育つ荻っ子であることを実感する活動でした。

来年、このみそがおいしくでき上がる頃には、みそを作った5年生も立派な最高学年になっています。熟成したみその味と成長した子供たちの姿を楽しみに、でき上がりの日を待ちたいと思います。



学習参観・学級懇談会・中学校進学説明会へのご参加ありがとうございました

今年度最後となる2月5日（月）の学習参観・学級懇談会には、悪天候の中、多数で参観いただき、誠にありがとうございました。積雪により駐車にも大変ご迷惑をおかけしたと思います。

学習参観では、どの学年も学年のまとめ、締めくくりを意識し、真剣に学習に取り組んでいました。成長した子供たちの姿をご覧いただけたでしょうか。

また6年生は、学習参観後に行われた「中学校進学説明会」にも参加しました。桜井中学校尾村校長先生をはじめ、ご来校いただいた先生方のお話を真剣に聞く姿から、中学校進学への意欲と期待を高めている様子が伺えました。



1年 保育所年長児との交流「わくわくなかよし交流会」

2月9日（金）1年生は、来年度入学する保育所年長児を招待し、「わくわくなかよし交流会」を開催しました。この交流会は、4月から新1年生となる年長さんに学校生活を紹介したり、一緒に学校探検したりすることを通して、小学校入学への期待を高め、安心して入学の日を迎えてもらおうと、毎年3学期に実施しています。

1年生はこの日のために、ちょうど1年前、自分たちが招待され、現在の2年生と交流したときの経験を生かし、学校紹介やお店屋さんの準備に取り組んできました。一緒に、年長児担任の先生と所長先生も参加してくださり、1年生の成長した姿を見ていただくことができました。いつもは上級生にお世話してもらうことの多い1年生ですが、この日は、先輩として年長さんのお世話をし、喜んでもらえたことに満足し、自信を付けていました。4月からは低学年の仲間として、仲よく活動してくれることと思います。



ペロペロキャンディー屋さんです。

校内なわとび記録会

2月8日（木）、2限には1・3・6年生、3限には2・4・5年生の校内なわとび記録会を行いました。子供たちは2学期の後半から、体育の授業やわんぱくタイム等でなわとびの練習に取り組んできました。朝、登校すると大急ぎで着替えを済ませ、一生懸命練習に励む姿や、休み時間ごとに友達と一緒に声を掛け合い練習する姿も見られました。記録会当日は、練習の成果を発揮しようと、どの子も真剣そのもので、学年ごとに決められた種目を30秒ずつ跳び、合計回数を競いました。寒い中での記録会でしたが、「がんばれ」「落ち着いて」など、学年を越えて声をかけ合い、体育館は熱気に包まれていました。今年度のなわとび記録会は終わりましたが、1階廊下や児童玄関前では、今でも熱心ななわとび練習が続いています。上手な上学年や友達の姿が具体的な目標として練習することによって難しい跳び方ができるようになったり、速く跳べるようになったりと成長を実感できることが子供たちの意欲につながっているようです。これから楽しみながら、体力・運動能力を高めてほしいと思います。



1・3年生の記録は6年生がしっかりと数えてくれました。



5年生の跳ぶ姿を見て、2・4年生からは歓声が上がっていました。

降雪・積雪時の安全な登下校へのご協力ありがとうございました

1月末から2月初旬にかけての大雪や暴風雪に伴い、児童の送迎等にご協力いただき、ありがとうございました。特に下校時の強風や降雪が激しかった1月23日からの1週間は、中・高学年の下校時刻を変更し、教職員付き添いによる集団下校を実施しました。その際には、お忙しい中、多くの保護者の皆様に迎えに来ていただき、体育館での引き渡しにご協力いただきました。学校周辺の道路には積雪も多く、大変ご不便をおかけしましたが、安心して子供たちを下校させることができ、感謝しております。

今後も、急な下校時刻の変更や集団下校を実施することになった場合には、今回同様に教育安全メールを利用して保護者の皆様にお知らせしたいと考えています。新たに教育安全メールへの加入を希望される方（祖父母の方の加入も可能です）は、学校アドレスまでメールを送信してお知らせください。

件名 教育安全メール加入希望

内容 ○年 児童名 ○○○○（祖母△△）

メールアドレス
ogyu-es@tym.ed.jp

